

neocareer

人と本気で向き合い、未来を切り拓く。

neocareer

サステナブル アクションレポート

地域の皆さまとの協働の軌跡

2023年／2024年度

編集方針

本レポートは、ネオキャリアグループが2023年1月1日から2024年12月31日までにを行ったサステナブルアクションをまとめたレポートです。

本社を構える新宿区を中心に持続可能な未来のため地域課題解決に向け、多岐にわたる取り組みを行ってきました。

本レポートは、それらの活動をステークホルダーの皆さまにできる限り読みやすく、ご理解頂きやすいようにまとめたものです。

※本レポートに関するご意見やご質問は下記までお願いいたします。
株式会社ネオキャリア 広報部サステナブル推進
koho@neo-career.co.jp

会社概要

会社名 株式会社ネオキャリア
NEO CAREER CO., LTD.
事業内容 採用支援
就労支援
業務支援
設立 2000年11月15日
資本金 100,000,000円
代表者 代表取締役 CEO 西澤 亮一

最新情報



ネオキャリアグループ
コーポレートサイト



ネオキャリアグループ
サステナブルページ

表紙と裏表紙には、福祉アート展の開催に向けて区内の福祉施設の皆さんと共同で制作したアート作品を使用しています。

ミライ

キリヒラク

TOP MESSAGE

トップメッセージ

TOP MESSAGE

“稼ぐ力”と“社会課題の解決”の両立

「ビジネスで、社会課題を解決する」。ネオキャリアグループは創業以来、常に社会の声に真摯に向き合い、対話を重ね、社会に存在する課題の解決を通じ、継続的に成長してまいりました。そしてこの度、私たちの企業カルチャーの表現、また経営の価値観の表現、それぞれの決意を、「サステナブル経営」として明文化しました。

ネオキャリアの歴史は、社会課題と向き合い続けた歴史でもあります。就職氷河期やリーマンショック、そして2020年のコロナショックといった国内外のさまざまな要因で、企業と求職者の双方に、不満・不便が存在しました。こうした状況の打破に向けて、ステークホルダーの皆さまとの対話を重ね、その解決策を導き出し、実行するというのが、私たちのビジネスです。

ビジネスと並行して私たちはサステナブル推進にも取り組んでいきます。企業や団体、求職者、社員と弊社の成長と共に社会の継続という「非財務価値の向上」を目指して、継続してきた取り組みをよりいっそう深め、加速するための決意です。社会からのご期待に応えるべく、ステークホルダーの皆さまとの協働により持続的な未来を描くために、私たちは、“稼ぐ力”と“社会課題の解決”を両立し、今後も挑戦と行動を続けてまいります。



株式会社ネオキャリア代表取締役CEO

西澤亮一

「パーパス」

PURPOSE

人と本気で向き合い、
未来を切り拓く。

ネオキャリアが目指すのは、誰もが主体的にいきいきと働くことができる社会です。今の世の中に対してだけでなく、それが持続するように、後世に残るような社会づくりを目指します。そのために私たちは一人ひとりと本気で向き合います。「本気で向き合う」とは、人を想うことであり、人を導くことであり、人の可能性を引き出すこと。時には見守ることを意味します。その時々でその人にとってネオキャリアが最も大切な存在となり、お客様とともに良い未来を築いていきます。

本レポートについて

Think locally, Act globally.

このレポートでは、当社がステークホルダーの皆さまとの協働により環境や社会に与えたポジティブな影響について説明しています。サステナブル推進にあたり「地球規模での課題を視野に、地域で行動する(Think locally, Act globally.)」をテーマとし、本社のある新宿区を中心に活動を行ってきました。その活動は、地域福祉支援、キャリア支援、ガクチカ(=学生時代に力を入れたこと)支援、環境活動、寄付活動、社会貢献など多岐に渡ります。その挑戦と行動に関する情報を記載し、持続可能な地域の未来に向けた取り組みを紹介しております。

なぜ「アクションレポート」なのか

地域における企業の在り方を考える

一般的なサステナブルレポートは、CO₂削減やカーボンオフセットなど、数値を通じて企業の取り組みを示し、ステークホルダーへの説明責任を果たすことを目的とするケースが多く見られます。

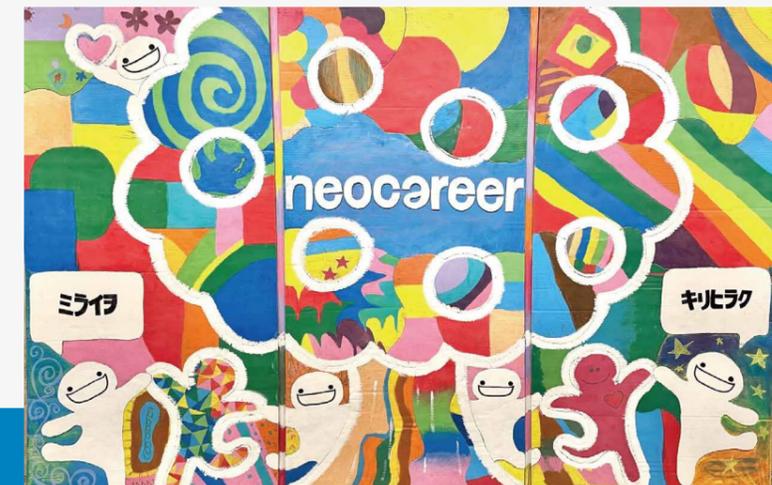
しかし、当社の事業は「人」に関わるサービスです。製造業のように環境負荷を直接削減できるわけではありません。そのため、従来の定量的な指標では、当社の本質的な価値を十分に伝えることが難しいと考えています。そこで私たちは、本社がある新宿区を中心に、地域のさまざまなセクターと密接に連携し、地域の皆さまとの対話から課題の本質を学び、その解決に向けて協働することを大切にしてきました。こうした取り組みは、財務指標では測れない価値を生み出し、地域社会との共創を通じて「持続可能な未来」を築く礎となっています。

本レポートは、そうした私たちの「挑戦」と「行動」を記録し、単なる取り組みの報告ではなく、これからの社会における企業のあり方を考える一助となることを目指しています。そのため、「サステナブルアクションレポート」と名付け、当社の具体的な挑戦と行動を中心に作成しました。私たちの想いと実践を、このレポートを通じて感じ取っていただければ幸いです。

2023年、2024年のハイライト

多様性、キャリア、ボランティア

ネオキャリアの2023年、2024年のサステナブル活動は、多様性、キャリア、ボランティア、という3つの柱を中心にアプローチしてきました。小学生、中学生、大学生のガクチカを支援する「キャリア支援」は当社の事業と関わりが深い中心的な活動ですが、多様性、ボランティアに対する配慮も同様に重要です。このレポートでは、さまざまな活動の中から特に3つの柱にスポットを当て、地域課題解決を目指す当社のサステナブル活動を紹介します。



地域の多様性を尊重する行動

～すべての個性が輝く社会へ～

企業のダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）推進は社内にとどまるものではありません。私たちは、地域社会との共創を通じて、自然や生き物、そして多様な人々が尊重される社会の実現を目指しています。本ページでは、私たちが地域の皆さまとともに推進している「多様性」を軸とした地域プロジェクトをご紹介します。

新宿アール・ブリュット企業展

オフィスを福祉アートの展示会場として提供し、企業と福祉をアートの力でつなげる。



当初は当社オフィスのみで行われていた展示も、3回目となる今回は、展示希望のあった協賛企業4社それぞれのオフィスにて同時開催となりました。展示会後には、来場者の投票で各展示会場ごとに受賞作品が選ばれ、授賞式を開催しました。



会期中、当社では60点を超えるアート作品が展示され、多くの方々にご来場いただきました。新宿区の吉住 健一区長をはじめ、一般来場者の方々など幅広い層の皆さまにお越しいただき、色彩豊かな作品で彩られたオフィス空間を楽しんでいただきました。

詳しくはこちら!!

2023年の「ネオキャリア賞」受賞者による個展の開催アーティストとしての活躍の場を提供



福祉アートに光を当て、アートを通じた活躍機会の創出を実現するための第一歩として、2023年にネオキャリア賞を受賞した太田 哲郎（おおた・てつろう）さんと三浦 稔（みうら・みのる）さんの個展を開催しました。

詳しくはこちら!!

協働先: 新宿区内社会福祉法人連絡会
社会福祉法人 新宿区障害者福祉協会 専務理事 今井 康之（いまい・やすゆき）様

最初に話を聞いた時は、「企業のオフィスで展示会や個展ができるなんて素晴らしい」と率直に感じたのを覚えています。この空間で展示された絵や、個展で制作をする太田さん、三浦さんを見たとき、とても感慨深い気持ちになることができました。一人でも多くの方が輝ける場が増えていくと嬉しいです。

ダイバーシティ・ウォールパズルアート



詳しくはこちら!!

多様な人々で一つのアート作品を制作し、DE&Iの体験を提供する授業を実施



小学生を対象に障がいがある方、外国由来の子ども、幅広い年齢層など多様な人が集まる場で「アート作品」を制作する授業を実施。この授業を通じて、参加者にダイバーシティへの理解を深める機会を提供し、誰もが活躍できるインクルーシブな社会づくりにつながることを目指しています。

※「ダイバーシティウォールパズルアート」は、白線画家である猫沢 八郎（ねこざわ・はちろう）さん提供のコンテンツで、多様な人々が同じ空間を共にしながら一つのアート作品を完成させるアート活動です。

★この冊子の表紙に使われている絵もダイバーシティ・ウォールパズルアートの作品です★



インクルーシブ共育プロジェクト

産学福連携で目指す、すべての児童に届く学び
西新宿小学校インクルーシブ共育プロジェクトの挑戦



このプロジェクトは、すべての児童が平等に学び、楽しむことができる授業を提供することを目的として、新宿区立西新宿小学校（以下、西新宿小）で発足しました。西新宿小学校 長井校長の「すべての児童が楽しめる授業を実現したい」という思いに共感した、福祉やダイバーシティに対する深い理解を持つ多様なメンバーで構成されています。中長期の企画として互いに協力し合いながら、模擬授業や会議を通じて、インクルーシブな授業の実現に向けて挑戦しています。

※インクルーシブ共育とは、すべての子どもがその個性や能力に応じた学びを提供される教育のアプローチです。この理念のもとでは、障がいの有無にかかわらず、すべての児童と一緒に学び合い、互いに理解し支え合う環境が求められます。



協働先: 新宿区立西新宿小学校
校長 長井 満敏（ながい・みつとし）様

閉鎖されがちな学校において、インクルーシブ共育プロジェクトの皆さまとの関わりにより、外部との連携が新たに生まれました。出前授業での子ども達との関わりや教員との事前会議などから、インクルーシブな環境の実現に向けて必要な気づきが得られています。



※ガクチカとは「学生時代に力を入れたこと」の略語

次世代の学びとガクチカを支援する行動

～興味と関心を深めるキャリア支援～

現代社会の若者たちの中には「なりたい職業がない」と将来のキャリア選択に悩む人も少なくありません。彼らが直面する課題は、多岐にわたっています。私たちは、専門的な知識を持った大人や学生と児童が触れ合うさまざまな学びの場を提供することで、教える側も学ぶ側も双方の興味や関心を広げる活動を「キャリア支援」と位置づけ実施してきました。

産学民福連携インセクトキャリア研究会

 **産学官民福連携で「虫の役割」を考える生物多様性イベント開催**
「虫の役割」から「未来の働き方」を考える



詳しくはこちら!!

この活動は、2022年から毎年夏休みの期間に環境問題に興味のある子どもを対象に実施している親子参加型の生物多様性調査イベントです。都立戸山公園、そらとだいちの図書館、新宿中央図書館、しんじゅ Quality との新宿区内での産学官民福連携を構築し、昆虫の調査を通じて参加する子どもたちの環境や虫の役割に関する興味や関心を深め、多様な未来を考えるキャリア教育として実施しています。また、東大の虫博士（大学院生）を講師に迎え、講師のガクチカやキャリア支援にもつながっています。当日、屋外で虫探しによる生態調査と公園の美化活動を実施したのちに屋内に移動し、昆虫の講義や「ミニコンポスト作り」を実施しました。



※そらとだいちの図書館
旧校庭を「畑や広場」にして、地域のにぎわいや緩やかな繋がりをつくり出す場にできないか?とじゅみんの手で生まれた多交流広場
※しんじゅ Quality
新宿区内にある、身体、知的、精神などに障がいのある方が働いている施設のネットワーク

**大昆虫展 in 東京スカイツリータウンへの出展
虫博士としての「ガクチカ」を支援**



詳しくはこちら!!



2024年7月に東京スカイツリータウンで開催された「大昆虫展」のイベントプログラムに東大大学院生と出展しました。

**新宿区エコワン・グランプリ
「環境にやさしい事業者」部門優秀賞受賞**



詳しくはこちら!!



「ゼロカーボンシティ新宿」の実現やSDGs達成に貢献する、新宿区での環境や社会にとって優良な事例として評価され、優秀賞を受賞しました。

**新宿区「みどりの小道」環境日記への協賛
子どもたちの自発的な学びを応援
未来を考え、行動を起こす機会の提供**



詳しくはこちら!!

新宿区「みどりの小道」環境日記コンテストに協賛し、「未来を切り拓くで賞」として、新宿区内の小学生を表彰しました。



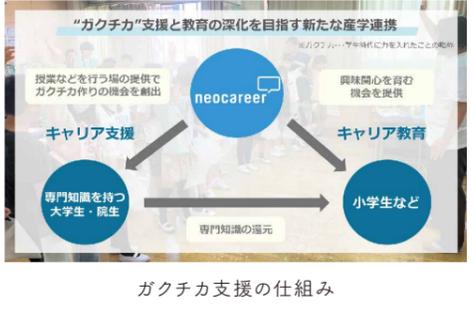
協働先: **NPO法人新宿環境活動ネット**
代表理事 **飯田 貴也(いいだ・たかや) 様**

ネオキャリアさんには、「新宿区『みどりの小道』環境日記コンテスト」への企業賞創設という形で、2023年度から連携させていただいております。サステナブルな未来の実現に向けて、人材サービスを展開される企業の視点から地域で育つ子どもたちの夢やキャリアを応援していただき、本当にありがたいです。

地域連携による 新宿区内の小学校へへの出前授業

 **“ガクチカ”支援と教育の深化を目指す産学民連携の構築**
専門知識を持つ大学生と小学生向けの環境共育出前授業を実施

新宿区立西新宿小学校と新宿区立早稲田小学校の4年生を対象に、「プラスチックとの共存」をテーマとした出前授業を、NPO 法人新宿環境活動ネットと早稲田大学の環境サークル「環境ロドリゲス」と連携して実施しました。この出前授業では、大学生には、子どもたちへのアウトプットを通じてわかりやすく伝える力、カリキュラムを作り上げるチームワークなど、ビジネスの場でも役立つスキルを高める機会を提供します。また、授業を受ける子どもたちには、物事への興味関心を持ち、理解を深め、自分で考えて行動する力を身につける機会を提供することで、将来のキャリア形成をサポートすることを目的としています。



＜マイクロプラスチック問題を学ぶ出前授業を受けた児童の声＞

- ・食物連鎖の関係が楽しく学べたのが良かったです。将来は、プラスチックではない体にやさしい物で生活をささえてたくさん作れるような物を発明したいです。
- ・ゲームを通じて環境問題を学ぶことができて楽しかった。私も社会のために頑張れるかなと少し思うことができた。大人になったら、お姉さんやお兄さんのように環境のことをいっぱい学んで、小さい子たちに教えたいです。

 **小学生の総合的な学習の時間の支援**
産学民連携による通年出前授業への挑戦



詳しくはこちら!!

新宿区「みどりの小道」環境日記の協賛をきっかけに、NPO 法人新宿環境活動ネットとの産民連携による、新宿区立早稲田小学校（以下、早稲田小）4年生を対象にした環境出前授業からスタートしました。その後、波多江校長や主任教諭からの相談を受け、総合的な学習の時間の支援へと発展し、「環境」「多様性」「防犯・防災」をテーマに「興味と関心を深める授業」として2024年度に15回の出前授業を実施しました。子どもたちが未来について考え、未来について話し合う時間をたくさん作りアウトプットの機会を提供しました。



協働先: **新宿区立早稲田小学校**
校長 **波多江 誠(はたえ・まこと) 様**

地域との連携により出前授業をお任せしたことで教育内容がより良いものになりました。さまざまなひとの色々な人の視点が入ることで子ども達にとって体験活動の質の向上につながりました。今後は、これまでの連携に加えて教員のキャリアに関するサポートにも期待しています。



オフィスを超えて、地域ともつながる。

～新宿から、広がる支援の輪～

当社は、サステナブル活動による連携を深めた地域社会に社員が自発的にボランティアとして貢献できる仕組みとして『地域社会貢献 Day』というボランティアがあります。この制度を活用し、2024 年は、社員のうち約 300 名が、地域の多様なステークホルダーとともにボランティア活動に参加しました。

地域社会が抱える課題が多様化し、その解決には企業と地域の協働が欠かれない現代において、私たちが働くオフィスは単なる"仕事をする場所"ではなく、地域とつながり、共に未来を創る拠点でもあります。通勤してオフィスで働くだけでなく、地域の人々と関わり、課題に向き合うことで、新たな気づきや成長が生まれます。こうした関係性を築くことが、持続可能な社会の実現に向けた第一歩であると考えています。

企業主導型ボランティア活動

地域社会貢献Dayを使って参加するボランティア活動

▶ 第 1 回：福祉施設での交流会




新宿区障害者支援センターの皆さんと「ポッチャ大会」を通じて交流会と施設見学、勉強会を開催。スポーツ交流を図りました。

▶ 第 2 回：西新宿小学校での授業サポート




西新宿小学校の全学年の授業をサポートし先生方との産学交流会と施設見学、勉強会を開催。教育現場の課題を学びました。

▶ 第 3 回：多世代食堂のサポート




社会福祉法人サンが運営する「サンの家食堂」の多世代食堂(子ども食堂)におけるお弁当作りと施設見学、勉強会を開催しました。

▶ 第 4 回：福祉養蜂所での探蜜のお手伝い




新宿区で福祉養蜂を営む「しんじゅ Quality」の探蜜のサポートと施設見学、勉強会を開催し、生物多様性への理解を深めました。

▶ 第 5 回：早稲田小学校での授業サポート




早稲田小学校の全学年の授業をサポートし、先生方との産学交流会と施設見学、勉強会を開催。教育現場の課題を学びました。

▶ 第 6 回：早稲田小学校での共同アート制作




早稲田小学校の 4 年生を対象としたダイバーシティ・ウォールパズルアートの制作サポートと、多様性に関する勉強会を開催。多様性の理解を深めました。

▶ 第 7 回：福祉施設でのハロウィンポッチャ交流会




新宿区障害者支援センターの皆さんと「ハロウィン仮装ポッチャ大会」を通じて交流会を開催しました。

参加者の声

- ・ボランティア活動を通じて、共存する社会の中で、さまざまな垣根を越え、自分にできることをこれからも続けたいと感じました。
- ・これまでは、障がい者に対して『何かをしてあげないといけない特別な人』というイメージを持っていましたが、この考えが誤っていたことに気がきました。
- ・先生方の働く環境について理解を深める良い機会となり、教育現場の改善に新たな興味を持ちました。

地域活動や寄付活動



詳しくはこちら!!

オフィスを超えて森を育む 未来をつくる環境アクション

NPO との連携による森づくり親子体験プログラム開発

東京ボランティア・市民活動センターの「企業ボランティア・プロジェクト」に参加し、パートナーとなる NPO 法人森づくりフォーラムや企業とともに「森づくり」に取り組みました。プロジェクトでは、日々の業務の場であるオフィスを超えて、地域の自然と触れ合いながら学び、行動する機会が大切であると考え、NPO と連携し、社員やその家族が森づくりに関わる体験プログラムを共同開発しました。親子で一緒に森を感じながら森の管理の重要性に向き合うことができるプログラムが完成しました。



- <プロジェクトチーム>
- ◆ 主催団体：NPO 法人 森づくりフォーラム
 - ◆ 共催団体：東京ボランティア・市民活動センター
 - ◆ 協力団体：パウロの森くらぶ、森の安全を考える会
 - ◆ 企業ボランティア：NEC グループ、株式会社ネオキャリア

参加者の声

- ・素晴らしい体験ができました。子どもと貴重な経験をできて大満足です。
- ・森づくりの活動をしている人から直接話を聞いて良かったです。
- ・焼き芋が電子レンジで作るよりもおいしかったです。

社内有志のアクションでつながる支援の輪 「本」「おもちゃ」「食品」のトリプルドライブ



私たちは人材を支援する企業として、障がい者の就労支援や子育て世帯の生活支援に貢献できる方法を模索してきました。その中で、新宿区社会福祉協議会を通じた「食品とおもちゃの寄付」、一般社団法人 ワーキングバリアフリーの「ジョブボン」を通じた「本の寄付」という 3 つの寄付活動に取り組みました。社内の有志が中心となり、単なる物資の提供にとどまらず、寄付先への訪問や交流を通じたつながりを大切にしています。

寄付先からの声

- ・ネオキャリアをはじめ、区内に拠点を置く企業の温かい支援をより鮮明に感じることができました。
- ・本の寄付が障がい者の就労支援につながることを知り、夢が広がります。



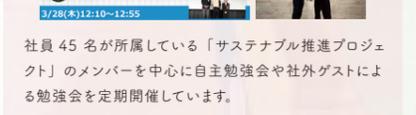
詳しくはこちら!!

マッチングギフト制度による 能登半島地震災害の 義援金募金活動




当社グループ社員からの寄付金に対して、会社がその同額を拠出し倍額にして寄付する「マッチングギフト制度」による募金活動を実施し、全額を義援金として寄付しました。

サステナブル推進プロジェクト サステナブル勉強会の定期開催

社員 45 名が所属している「サステナブル推進プロジェクト」のメンバーを中心に自主勉強会や社外ゲストによる勉強会を定期開催しています。

社内有志による清掃活動 新宿年末クリーン大作戦への参加




地域への日頃の感謝の気持ちをお伝えする機会として、新宿区で毎年末に行われる「新宿年末クリーン大作戦」に社内の有志を募り参加しています。

ボランティアの社内効果について

地域との関わりを持つことは、社員自身の成長にもつながります。日々、通勤して働く「オフィス」という超え、地域との接点を持つことで、視野が広がり、新しい価値観や社会貢献の意識が芽生えます。ボランティア活動を通じて社員は社会とのつながりを実感し、働く意義を再認識する機会にもなっています。

ステークホルダーの皆さまと共に、より良い未来を切り拓く。

～多様な視点を取り入れた取り組み～

ここまで本レポートにて2023年と2024年の主な活動を詳しくご紹介しましたが、その他の詳細の掲載をしきれなかった活動やサステナブル推進において大切にしている「マルチステークホルダーダイアログ」について最後に紹介させていただきます。

紹介しきれなかった活動のダイジェスト 対話から始まる地域課題解決に向けた連携

西新宿小学校の課外授業の受け入れ




西新宿小学校の生徒とブロックを使って未来について考える授業を実施しました。

西新宿中学校の職場体験の受け入れ



西新宿中学校の生徒の職場体験を3日間のスケジュールで受け入れました。

キャリア縁日への出展



東京ボランティア・市民活動センター主催の難民など外国にルーツのある学生のためのキャリア支援イベントに参加しました。

新宿 CSR ネットワークを通じた活動




新宿 CSR ネットワークに所属し、企業連携によりダイバーシティパークや新宿養護学校への出前授業などに取り組みました。

新宿 SDGs フェスへの出展




新宿中央公園で年末に開催されている「新宿 SDGs フェス」に西新宿小学校のPTAの皆さまとの連携で「7R 縁日」の出展をしました。

新宿 NPO 協働推進センターでの登壇




新宿 NPO 協働推進センターで開催された「学生・次世代と NPO の交流会」、「NPO × 学生・次世代 × 未来社会」のファシリテーターとして登壇しました。

共立女子大学での SDGs 授業




共立女子大学国際学部のワークショップ形式の授業に、当社サステナブル推進担当が講師として登壇しました。

国際ファッション専門職大学での授業




国際ファッション専門職大学の必修科目「環境とビジネス」の授業に当社サステナブル推進担当が講師として登壇しました。

スポーツチームの支援




マイナビ仙台レディースやクリアソン新宿などのスポーツチームの支援やチームとの交流会を行っています。

＜未来への挑戦 ～私たちが今後取り組むべき3つの社会課題～＞
本レポートでは、過去2年間の取り組みをご紹介しましたが、私たちは現状に満足することなく、次の課題にも挑戦していきます。

- 地域とのさらなる共創による次世代の課題解決
小学校との連携により見えてきた子どもたちの「探究学習」の支援や高校生、大学生のアウトプットの機会提供によるキャリア支援を強化します。
- 多様な人材が活躍できる社会の実現
障がい者、高齢者など、就労に壁を感じている方々への支援施策を拡充します。



マルチステークホルダーダイアログの開催 皆さまの声を活動に反映するために

※マルチステークホルダーダイアログは企業がさまざまなステークホルダーを集め開催する双方向の対話のこと

当社では、サステナブルアクションレポート作成後、より実効性のある取り組みを行うために、サステナブル推進報告会を開催し多様なステークホルダーの皆さまと対話のため「マルチステークホルダーダイアログ」を実施しています。本ページでは、そのプロセスと成果についてご紹介します。



STEP 01 早稲田大学生とのダイアログ 早稲田大学環境ロドリゲス

環境活動に積極的に取り組む早稲田大学の環境サークル「環境ロドリゲス」との対話を実施。若い世代ならではの視点から、多くの気づきを得ました。



STEP 02 ソーシャル活動家とのダイアログ 大学生の活動家や ソーシャルビジネス経営者

社会課題に取り組む大学生やビジネスリーダー6名との対話を実施。持続可能なビジネスの視点から、より実践的なアドバイスをいただきました。

STEP 03 連携先とのダイアログ マルチステークホルダー ダイアログの開催

これまでに連携いただいたステークホルダーの方々20名をオフィスにお招きし、社内メンバー8名を加えて報告会とワークショップを通じた対話を行い、サステナブルレポートのリアルなフィードバックをたくさんいただきました。レポートの各ページに対して「GOOD」は赤い付箋、「MORE（改善点）」は黄色い付箋を貼る形式で意見をいただきました。



感謝のメッセージ（編集後記）

当社のサステナブル活動とサステナブルアクションレポートは、私たちの想いだけでなく、ステークホルダーの皆さまと共に築いた地域のストーリーでもあります。皆さまとの日々の対話から新たな視点を得て、より良い未来への解決策を見つけられていることを実感しております。これからも、「Think locally, act globally.」をテーマに、皆さまと共に持続的に歩み続けること、そしてそのためにオープンな対話を大切にしていきます。連携いただいているすべての方、貴重なご意見を寄せてくださったすべての方に、心から感謝申し上げます。

株式会社ネオキャリア
サステナブル推進 高山功平



一つの対話から、未来は動き出す。
良い未来を切り拓くために、サステナブル活動やサステナブルアクションレポートについて、ぜひ対話の機会とご意見をお聞かせください。